



移民ニューヨーク在住者のための のリソースガイド

ニューヨーク市は在留資格に関係なく、すべての居住者を支援しています。電話またはクリックするだけで、200言語以上に対応した支援にアクセスできます。以下で簡単にご案内します。

移民のための法律支援

- 月曜日～金曜日の午前9時から午後6時まで、移民のための無料法律支援を行っています。ActionNYC 1-800-354-0365までお電話ください。
- 一部の公共図書館で利用できる無料の市民権申請支援と経済的な問題の相談については311に電話して「citizenship appointment」（市民権の申し込み）と言うか、NYC.gov/NYCitizenshipにアクセスしてください。
- 営利目的の移民サービス事業者に注意してください。信頼できる資格を持った弁護士または認定代理人からの支援のみ利用してください。本件についての質問は、月曜日～金曜日の午前9時から午後8時までの間に、新しいアメリカ人ホットライン (1-800-566-7636) にお問い合わせください。

家族の保護と支援



医療

誰もが支援を必要とする時があり、一人で苦しむべきではありません。すべての人が安価で救急診療および一般診療を受けられる公立病院、診療所、その他医療機関があります。NYC Wellは精神的な問題や薬物乱用で支援が必要な方に向けたニューヨーク市が無料かつ機密扱いで行っているサポート、危機介入、情報と紹介サービスです。このサービスは年中無休で、200言語以上に対応しています。1-888-NYC-Wellに電話するか、または65173にWELLとテキストしてください。



保育

無料または安価な保育。6週～12歳までの子供のいる低所得世帯は、無料または安価で保育を受けることができます。詳細はNYC.gov/ACSにアクセスするか、311までお電話ください。



教育

子供の就学。ニューヨーク市に在住のすべての子供は、在留資格や言語に関係なく、公的な学校教育を受ける権利を有します。4歳または4歳になる子供は幼稚園に入る前（Pre-K）の対象であり、すべての居住者は5歳から卒業または27歳になる学年末まで、公立学校に通う権利を有します。3-K、Pre-K、またはDOE（ニューヨーク市教育局）の学校に入学するには、311に電話するか、schools.nyc.gov/enrollmentにアクセスしてください。



緊急食料とシェルター

必要な方への無料食料配布。ニューヨーク市ではさまざまな場所で、必要な方への無料食料配布を行っています。住宅プログラムは、住民がシェルターに入らないで済むような支援をしています。詳細はNYC.gov/Homebaseにアクセスするか、311までお電話ください。

安全なコミュニティの維持



公共の安全

市では移民法の執行を実施していません。NYPDは犯罪被害者、証人、その他支援が必要な人々の在留資格について照会を行っていません。ヘイトクライムの被害に遭われた場合、または不明な点がある場合は、NYPDにお問い合わせください。NYPD Hate Crimes Task Forceに直接連絡するには、1-646-610-5267にお電話ください。



差別からの保護

すべてのニューヨーク在住者は、職場、住宅、公共の場で違法な差別、報復、嫌がらせを受けない権利を有します。苦情を申し立てたり、詳細を知るには311に電話するか、ニューヨーク市人権委員会 (1-718-722-3131) までお電話ください。

無料のIDNYC（身分証明書）を手に入れる



IDNYCを入手するには、すぐに予約してください。311に電話して「IDNYC」と言うか、NYC.gov/IDNYCにアクセスしてください。IDNYCは10歳以上のすべてのニューヨーク在住者のための無料の身分証明書で、数多くのメリットがあります。IDNYCは在留資格情報を収集せず、申請者情報は機密です。市はIDNYCの情報を法律の範囲内で最大限保護します。

移民省の市長室が電話、インターネット、面談での支援を提供しています。月曜日～金曜日の午前9時から午後5時まで、直接1-212-788-7654にお電話ください。または、3か所あるNYC移民情報事務所のいずれかにお越しください。場所はNYC.gov/ImmigrantInfoDeskに掲載しています。